

## サイエンスカフェの多様な展開

## あの日も雪が

物理科 田代卓哉

## 1. 概要

昨年12月に行われた報道写真展において、多くの人が一枚の写真の前で足を止めていた。中には涙を流している人もいた。その写真を撮ったのが、共同通信社の遠藤弘太カメラマンである。様々なつてをたどって遠藤氏に連絡を取ることができ、サイエンスカフェの講師としてお招きした。

## 2. 講演の内容

きっかけとなったのは「あの日も雪が」というタイトルの、東日本大震災をテーマとして写真であったが、他にもソチオリンピックや介護をテーマとした作品を多く見せてもらうことができた。

カメラマンというのは、その現場をつぶさに観察し、そこにある感情を写真を通じて多くの人に伝えることが仕事である。写真を前に聞く話には説得力があり、目に涙を浮かべる生徒も見られた。

またそれだけでなく、なぜカメラマンを目指したのか。そしてカメラマンとしてキャリアを積み途中で何を考えていたのかについても聞くことができた。フォトジャーナリズム的な内容にとどまらず、キャリア教育としても素晴らしい内容であった。



## 謝辞

全く関わりのない私たちのお断りを引き受けてくださった共同通信社の遠藤弘太氏と、その仲介に関わってくださった毎日新聞社の本橋由紀氏に感謝します。

## サイエンスカフェの多様な展開

## 恐れよ、砕け散れ!

国際部 中鉢健治

## 1. 目的

本校では、海外留学に興味を持っている生徒は多く、海外の大学への留学が「進路選択の一つ」になりつつある。

海外の大学に在学中の学生から生の声を聞くことで、日本と海外の大学のそれぞれの良さを知ることが目的として、今回サイエンスカフェを設定した。講師として、アメリカのブラウン大学に在学している中川健太氏(3期生)が所属している「ブラウンの熊たち」を迎えた。

## 2. 概要

- (1) 日時:平成27年6月11日(木) 16:10~18:20
- (2) 場所:本校多目的ホール
- (3) 講師:「ブラウンの熊たち」\*

アメリカ・ブラウン大学 日本人学部生4名

\*2012年9月、アメリカ・ブラウン大学在学中の学部生9名により結成された学生組織。発足以来、ブラウン大学での「等身大」の生活を発信している。

- (4) 参加者:3年生から6年生の生徒及び教職員 30名
- (5) 内容

「恐れよ、砕け散れ!」をテーマに、留生活や留学までのプロセスに加え、留学のよい部分だけでなく、アメリカ留学を志した経緯、アメリカでの挫折とその克服など、「留学に関する現実」を自身の体験を交えながら、語っていただいた。単なる講義形式ではなく、アイスブレイキングや参加者と対話しながら講義を展開する時間があつたため、和やかな雰囲気の中で講師と参加者の活発な意見交換が行われた。

## 3. 参加した生徒の感想

- これまで留学に関する良い面、恐れるような面しか知らなかったが、実際に体験した話を聞くことで、恐れだけで突っ走ってはいけないなと思った。具体的な話を聞いて本当に貴重な機会だった。
- 大学は就職の前段階という日本でよくある考え方はアメリカでは違って、自分が学びたいことを勉強するのがアメリカの大学であるということがわかった。

